

みんなに愛される“いい川”“いい川づくり”公開選考会

いい川・いい川づくりワークショップへようこそ！

※通算16回となる「川の日」ワークショップは、いい川・いい川づくりワークショップとして、
これまでの蓄積を踏まえた大会として歩んでいます。

SINCE 1998

第6回いい川・いい川づくりワークショップ

(※通算16回)

2013年11月2日(土)・3日(日/文化の日)に開催予定！

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

(東京都渋谷区代々木神園町)

主催：いい川・いい川づくり実行委員会

第5回いい川・いい川づくりワークショップは、
2012年9月22・23日に開催されました。

全国からたくさんの方々にご参加いただきました。ありがとうございました！

[表彰結果](#) [大会概要](#)
[エントリー団体\(全30団体\)](#)

※これまでの大会の概要は、下記よりご覧ください。お問い合わせは事務局まで

「“いい川”とは何だろう」-「川の日」ワークショップは、それを問いかけ、
自由で柔らかにその答えを探っていくための公開選考会という方式のワークショップです。
7月7日の「川の日」を記念した市民実行委員会主催の大会として1998年にスタートして以来、
毎回、全国から50件以上の「これぞ“いい川” “いい川づくり”」という応募があり、
地域の水辺を愛し、育み、見守る400～500人が一堂に会する催しとなっています。

通算15回目となる第5回いい川・いい川づくりワークショップ(2012年)までの開催で、
応募件数は延べ932件となりました。

主催：いい川・いい川づくり実行委員会 実行委員長 宮口としみち 他約100名

※第5回いい川・いい川づくりワークショップは、[財団法人 河川環境管理財団](#)の河川整備基金の助成を受けています。

※第5回いい川・いい川づくりワークショップは、[社団法人 関東建設弘済会](#)の助成を受けています。

第5回 いい川・いい川づくりワークショップ

(第15回「川の日」ワークショップ)

7月7日「川の日」の記念行事の一つとして全国の川や水環境に関する市民、行政に呼びかけスタートした「川の日」ワークショップは、第10回記念大会を経て「いい川・いい川づくりワークショップ」として新たに歩み出し、通算15回目の開催となりました。過去14回の大会で応募数は902件となっています。

この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていくこと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ1998年に始まりました。これこそ“いい川”・“いい川づくり”という事例や事業、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いからです。今では、全国の8地域で地域大会が独自に開かれ、お隣の韓国の大会も9回を数え、双方の大会への参加、交流が、市民や学生、子ども達の交流に広がっています。

ワークショップでは、さまざまな水辺とともに、山や里、水路や海、下水道や雨水の分野、水循環、防災、まちづくり、福祉、教育など、領域やテーマを広げつつ、子どもたち、大学生、世代を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会と交流が行なわれます。是非、ご参加下さい。

- 日時：2012年 9月22日（土・秋分の日）13：10～18：30 19：00より交流懇親会
23日（日） 9：00～15：30 *時間は予定です

*22日（土）：開会/全体集会/全体発表会（全応募一斉発表）/テーブル選考（一次選考）/全体集会

*23日（日）：復活選考/入選者発表会/全体選考（二次選考）/公開討論会（最終選考）/表彰式

一般参加自由です！

- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
（メイン会場）国際交流棟 国際会議室(22日)・レセプションホール(23日)
（渋谷区代々木神園町3-1・新宿駅から小田急線 参宮橋駅より徒歩5分）
- 主催：いい川・いい川づくり実行委員会 実行委員長 宮口侗迪 他約100名
- 後援：国土交通省



いい川・いい川づくりワークショップとは？

- 全体会場での全応募者一斉発表に始まり、テーマ別のテーブル選考、復活選考、会場からの意見も交えて行なわれる全体選考会のプログラムで、全てオープンに行われます。選考は以下のような考え方や評価のポイントの基に行われます。新たな評価軸を探り共有するのがこのワークショップの目的です。
 - ◆ 川の「タカラモノ」に光を当て、「いい川」「いい川づくり」とは何かを探ります。
 - ◆ 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
 - ◆ 公開選考会は、おおよそ以下の4つのカテゴリーにおいて総合評価します。
 - 発想・着眼評価：「いい川」をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 - 関わり評価：地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
 - プロセス評価：「いい川」を育むための市民・住民参加や、さまざまな分野の人たちとの協働のプロセスについての評価
 - 計画・技術評価：川らしさの保全や「いい川」回復のために工夫された計画手法や施工技術等についての評価や「いい川」を実現した技術に対し選考を行います。
- 発表では、プレゼンテーション用パネルのほか、自由な表現方法でアピールします。1件3分という限られた時間の中で、工夫を凝らし熱のこもった発表が毎回繰り広げられています。日頃の取り組みの発表、意見交換、参加者同士の交流を通じて、新たな発見や取り組みのエネルギーを分かち合います。

《いい川・いい川づくり実行委員会事務局》 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-20-14-301 NPO 全国水環境交流会
TEL:03-3408-2466 FAX:03-5772-1608 E-mail:kawanohi-2006@mizukan.or.jp

URL: <http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

※過去の大会や関連する大会、エントリー団体も逐次紹介しています

* 第5回いい川・いい川づくりワークショップは、財団法人河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています。

* 第5回いい川・いい川づくりワークショップは、社団法人関東建設弘済会の助成を受けています。

●第5回いい川・いい川づくりワークショップ タイムテーブル

9月22日(土)：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟・国際会議室ほか

日時	時間	内容	場所
10:30 ~		実行委員 順次受付	403教室 (センター棟 4F)
11:00 ~ 11:50	50分	実行委員会ミーティング ：ワークショップの進め方、選考の方法等	
11:50 ~ 13:00	70分	昼食(各自) ※テーブル・コーディネーター・全体選考・公開 討論・コーディネーターほかミーティング	
12:30 ~		順次受付(ただし、開場は13:10頃を予定)	国際会議室 (国際交流棟 1F)
13:15 ~ 13:35	20分	開会、全体集会(応募者、実行委員他) ・ワークショップの進め方等	
13:40 ~ 15:20	100分	全体発表会 ・テーブルAより1団体3分で続けて発表(発表のみ)	
15:20 ~ 15:40	20分	テーブル選考の各テーブルに移動	
15:40 ~ 16:55	75分	テーブル選考(一次選考) ・各テーブルから2団体を推薦(予定)	各教室(センター棟 1F・3F・5F 他)
16:55 ~ 17:10	15分	全体会場(国際会議室)へ移動	国際会議室 (国際交流棟 1F)
17:10 ~ 17:40	30分	全体集会(応募者、実行委員、一般参加者) ・テーブル・コーディネーターによる、テーブル選考結果概要報告 5分×各テーブル	
17:40 ~ 18:10	30分	韓国「江の日」大会 優秀事例の報告 (3団体、逐次通訳)	
19:00 ~ 20:30	120分	交流懇親会 ※申込の方(会費制)	レストラン とき (カルチャー棟 2F)

9月23日(日)：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 レセプションホール

日時	時間	内容	会場
9:00 ~ 9:40	40分	二日目開会・復活選考 【テーブル選考の選外から全体で5~6件を選考予定】	レセプションホール (国際交流棟 1F)
9:45 ~ 10:45	60分	入選者発表会 ※テーブル選考からの推薦と復活選考で選ばれた団体 テーブルAより1団体3分で続けて発表(発表のみ)	
10:50 ~ 12:10	80分	全体選考(二次選考)	
12:10 ~ 13:10	60分	昼食(各自)	
13:10 ~ 14:40	90分	公開討論会(最終選考)	レセプションホール (国際交流棟 1F)
14:40 ~ 15:30	50分	表彰式 講評及び各賞発表、表彰	
15:30		閉会	

* テーブル選考のグルーピング及び各会場は、当日配布するプログラム及び選考資料に記載しています。

* 貴重品以外の手荷物は、両日とも指定の場所に置くことができます。途中の会場移動の際など、持ち物は各自ご注意ください。

* タイムテーブルは当日の進行状況によって多少変更することがあります。予めご了承くださいとともに、スムーズな進行を図るため、ご協力をお願いいたします。

賞	テ- ブル	No.	エントリー No.	都道府県	河川名	水系	団体名	いい川・いい川づくり賞名
グランプリ	C	5	304	埼玉県	くろめがわ 黒目川	新河岸川	黒目川に親しむ会	子どもの遊ぶ活動は川の浄化につながるで賞
準グランプリ	D	5	804	宮崎県	ほうりがわ 祝子川	五ヶ瀬川	宮崎県立延岡工業高等学校	地元の土建屋の専務の情熱が川と工業高校を良くするで賞
入賞	A	3	302	東京都	のがわ・ぬくいじんじやのゆうすい 野川・貫井神社の湧水	多摩川	東京都立多摩科学技術高等学校科学研究部 化学班	環境変化にいち早く気付く調査で賞
	A	5	601	山口県	きばがわ 佐波川	佐波川	水の自遊人 しんすいせんたい アカザ隊	川ガキ・防災・障害者支援・宝箱 佐波川のキーワードで賞
	B	4	505	京都府	あまわかこ(ひよしだむ) 天若湖(日吉ダム)	淀川	天若湖アートプロジェクト実行委員会	アートで魅せた水の魅力、地域と世代をつなぐで賞
	B	5	405	長野県	うえだしぜんいき みずべ 上田市全域の水辺		上田市 上下水道局 下水道課	排水口の向こうにホテルが見えるで賞
	C	3	801	福岡県	おんががわ 遠賀川	遠賀川	SWEEP(スウィープ)	遠賀川で遊んだ川活動、よくぞこれまで継続できたことで賞
	C	4	501	大阪府	よどがわ わやがわ 淀川・寝屋川	琵琶湖・淀川	摂南大学 エコシビル部	関西の水系をエコシビルの若者がつないでいくで賞
	E	4	301	埼玉県	もとあらかわ 元荒川	荒川	熊谷市ムサシトミヨを守る会	トキにしないで賞
	F	1	502	大阪府	みず かいろう どうしまかわ ときほりがわ 水の回廊(堂島川、土佐堀川ほか)	琵琶湖・淀川	大阪府都市整備部河川室	光で心環つかみ川の再生につなげま賞
	F	2	806	熊本県	九州及び韓国全羅北道の水辺		日韓大学生交流サポーターズクラブ	未来へ技術を繋ぐために交流の輪を広げていきま賞
	F	4	803	鹿児島県	せんだいがわ 川内川	川内川	国土交通省九州地方整備局 川内川河川事務所	地域の宝を未来に残すために悩んだ結果で賞
入選	A	1	807	福岡県	ひいかわ むろみがわ 樋井川・室見川	樋井川・室見川	はかたわん海援隊(福岡大学)	若者の地域活力が博多湾をきれいにするで賞
	A	2	403	静岡県	わらしながわ 粟科川	安倍川	全国環境ボランティアリーダー会	地域を物語るお地蔵さまに導かれま賞
	B	1	503	大阪府	きんき みずべ 近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会		近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会	子供の集う水辺は夢のある水辺になるで賞
	D	2	507	滋賀県	しらとりがわ 白鳥川	淀川	白鳥川の景観を良くする会(略称:景観隊)	リタイヤ世代が5kmの川の人生の花道を拓くで賞
	E	2	604	岡山県	おおのがわ 大野川	旭川	御津の「みどり」と「清流」を守る会	クマタカに孫に緑つなぎま賞
	E	3	401	長野県	すわこ 諏訪湖	天竜川	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	千歳のご先祖から赤ちゃんまで木遣りを合唱賞
	E	5	506	大阪府	あかたがわ 芥川	淀川	芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク	フワフワ孵化したで賞
	F	5	508	滋賀県	ぜんこうじかわ 善光寺川	日野川	竜王清流会	地域力を高めるのは中高年で賞
森 清和賞	F	2	806	熊本県	九州及び韓国全羅北道の水辺		日韓大学生交流サポーターズクラブ	
広松 伝賞	E	4	301	埼玉県	もとあらかわ 元荒川	荒川	熊谷市ムサシトミヨを守る会 江守 和枝さん	
“いい川”技術 総合賞	F	4	803	鹿児島県	せんだいがわ 川内川	川内川	国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所	
“いい川”技術 奨励賞	D	5	804	宮崎県	ほうりがわ 祝子川	五ヶ瀬川	宮崎県立延岡工業高等学校	
“いい川”技術 奨励賞	E	5	506	大阪府	あかたがわ 芥川	淀川	芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク	
国際 技術奨励賞	特別発表			韓国	泰安(テアン)海岸		泰安(テアン)海岸国立公園	